軸受(ベアリング)事業

軸受(ベアリング)事業売上／
売上高合計(2016年度)
28.5%

1983年の開発以来、クルマの燃費向上を支えてきた低トルク円すいころ軸受、LFT。
ハブユニットなど他の品種にも広く展開され、地球環境保全に貢献しています。
また、国内最大のトンネル用シールド掘進機に採用された
超大型軸受など、自動車向けから各種産業機械向けまで、
あらゆる産業の回転部分に多種多様な軸受を提供し、
縁の下から社会を支えていきます。

自動車用ハブユニット軸受(HUB-LFT)

トンネル掘進機用の超大形軸受

TOPICS

超低トルク円すいころ軸受(LFT-Ⅳ)

No.1の低トルク性能が進化

保持器材料に設計自由度の高い樹脂を採用し、形状の最適化を図ることで、軸受内部に流入する潤滑油量を抑制。潤滑油による攪拌抵抗の低減に成功しました。焼きつき寿命なども向上させています。

→ F_05 関連記事

低トルク化 現行の低トルクNo.1製品 LFT-Ⅲと比較してさらに	約30%低減
期待される燃費向上効果 デファレンシャルでの使用により標準品と比較して	約2.5%向上

モータ用低トルク長寿命深溝玉軸受

産業用機械のエネルギー損失を低減

低トルクと長寿命の背反する2つの目標に対し、グリースの分子構造にまでさかのぼる新しい解析手法でアプローチ。低トルク化と長寿命化を両立させたモータ用軸受を開発し、2016年度一般社団法人日本トライボロジー学会技術賞を受賞しました。

→ F_06 関連記事

トルク損失 従来品より	約50%低減
寿命 従来品の	約2倍
静音性 従来品より	約33%向上

＊ LFTはLow Friction Torqueの略で、株式会社ジェイテクトの登録商標です。
＊ LFT-HUBは株式会社ジェイテクトの登録商標です。

2016年度の振り返り

1 売上高は前年度比8.1%減の3,754億円

円高の影響および日本・豪亜・北米での販売減少により、売上高は前年度比で8.1%減の3,754億円となりました。

2 事業体質の強化

従来、進めてきた構造改革においては、国内生産体制の再編として商品群の移管と集約を実施。また、海外事業の収益基盤構築についても成果が出てきました。亀山工場には、革新ラインを導入し、省エネ・環境対策を強化した第2工場を建設。グローバルモデル工場として、高い競争力を持ち、人、環境にやさしい工場を実現しました。

亀山第2工場

針状ころ軸受のグローバル生産・開発体制強化の一環として、グループ会社の宇都宮機器において清原新工場の用地取得を行いました。事業拡大の中核拠点として、開発からモノづくりのスピードを上げ、お客様のニーズに応えていきます。

宇都宮機器の清原新工場用地（写真提供：栃木県企業立地促進協議会）

今後の見通し

1 足元の取り組み

国内事業の収益性の改善に向けて、生産性改善や販売拡大、固定費削減、投資効率向上の取り組みを進めます。
生産面では「高度工場化」をコンセプトに、IoEの活用、自動化・無人化、小ロット対応を推進。労働人口減少対策と働き方改革を実現する生産現場への変革を図ります。
市販分野では販売網の拡大、品揃え・物流強化、人材の育成を推進し、収益向上を図ります。

2 将来への取り組み

自動車向け軸受ではさらなる低トルク化を追求するとともに、電動化、ADASといったクルマの進化を先読みした新商品開発に取り組みます。
産業機械向けでは顧客ニーズに沿った高機能商品の開発や生産・サービスの体制強化に努めます。